

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	6-	13
事業名	消防施設経費	
会計	款	項
一般	9	1
目	3	
施策	1 安全・安心なまち	課名 環境防災課
	1-1 安全・安心のまちをつくる	係名 危機管理室
	1-1-1 消防・防災対策の充実	
主要施策	④常備消防・救急体制の充実	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。
事業内容	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。 町内全域に70基の防災行政無線子局、防災ラジオ（有償配付）を配備し、住民に災害への注意を呼びかけている。 約900基の消火栓ボックスを町内全域に設置し、消火栓の維持管理を町上下水道課へ委託、消火栓ボックスについては、自治会・自治会自主防災組織による点検を実施している。また、平成21年度からは取り替え作業についても自治会へ移管し、自治会・行政の協働による消防力の強化を進めている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和3年度（目標）	
	1	防災ラジオの有償配付数	5,482	5,514	5,541	台	↑	5,570	
2									
3									
4									
5									
			令和元年度（決算）		令和2年度（決算）		令和3年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			15,273		121,945		33,619		
財源内訳	直接事業費A		12,693		119,365		30,505		
	うち一般財源		12,693		7,926		4,705		
人件費（千円）B			2,580		2,580		3,114		
内訳	一般職員（人・千円）		0.38		2508		0.45		2,970
	臨時職員（人・千円）		0.04		72		0.08		144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	火災や災害発生時に重要な、防災行政無線機器のデジタル化更新整備。	③取組の課題	火災発生時に重要な、消防水利の適切な維持管理及び防災行政無線機器のデジタル化の推進。
②R2年度に実施した取り組み	防災行政無線のデジタル化整備工事に着手。北大社地内防火水槽撤去工事／2箇所	④今後の改善計画	火災や災害発生時に重要な、防災行政無線機器のデジタル化更新整備。災害等の情報発信媒体の導入等の検討を図る。（現在の個別受信機【防災ラジオ】がデジタル化に伴い対応できなくなる）